

Why We Engage

Special Contents

AIを社会実装する — AIを価値に変える、当社の役割

取締役執行役員専務
兼 CDO(チーフデジタルオフィサー)
兼 CIO(チーフインフォメーションオフィサー)
兼 ビジネス変革統括本部長

菊池 惣

業務変革を加速するAI

この1～2年で、AI、特に生成AIは大きく進化しました。多言語での自然な対話や音声利用が広がり、議事録や資料作成など日常業務での活用も進んでいます。AIは「試しに使う技術」から「成果を生むツール」へと変化しつつあります。一方、現段階の活用は個人レベルの効率化が中心です。今後重要なのは、AIを業務や事業活動に組み込み、企業変革につなげることです。AIは単なる生産性向上ツールではなく、競争力や事業モデルを左右する重要な経営課題となっています。

自ら変革を実践する

NEC ネットエスアイは、この変化を事業や働き方を進化させる大きな転換点として捉えています。従来SIerが担ってきた設計・構築・運用業務の一部は、今後AIによって代替・高度化される可能性があります。そのため、AI活用を現場任せにするのではなく、経営・事業戦略と一体で推進することが重要です。当社では、企業変革の推進力を高めるためAIの専門組織を設置し、社内でのAI活用・検証を通じて業務変革の知見を蓄積しています。その経験

を、お客さまの現場で実装・定着できる価値として提供することを目指しています。また、AIの進化を脅威ではなく成長機会と捉え、社員一人ひとりのリスクリングを進めながら、より高度な提案や運用、現場価値の創出につなげていきます。

AIエージェント時代の基盤力

今後、AI活用の中心はAIエージェントへと広がっていくと考えています。AIエージェントは、従来のRPAによる定型業務の自動化を超え、自律的に判断しながら業務を遂行する存在です。重要になるのは、AIそのものではなく、AIエージェントが安全かつ安定的に稼働するためのネットワーク、セキュリティ、インフラ、運用基盤です。人間向けに構築されてきたICT環境は、AIエージェントを前提とした設計へ進化していく必要があります。

当社は長年にわたり企業や社会のICT基盤を構築・運用してきました。AIを導入するだけでなく、安心して利用できる形で社会に実装し、継続的に運用することが当社の強みです。

また、AIエージェント同士の連携や標準化は世界規模

で進んでおり、シリコンバレーをはじめとする先進的な技術コミュニティでは新たなルールづくりや技術開発が加速しています。当社もこうした最新動向を取り込みながら、AI社会を支える基盤づくりを進めています。

顧客価値を創造する

AI時代に重要なのは、技術そのものではなく、お客さまが実現したい成果に目を向けることです。これは「お客さまはドリルが欲しいのではなく、穴が欲しい」という考え方にも通じます。当社はAI導入そのものではなく、お客さまの業務変革や価値創出の実現を支援していきます。

NECがAI技術や上流領域に強みを持つ一方、当社はネットワーク・セキュリティ・基盤運用・現場実装に強みを有しています。両者の強みを組み合わせることで、AI技術と活用基盤の双方を提供することが可能です。

AI時代に求められるのは、技術を現場に定着させ、成果へ結び付けることです。当社は、自ら実践して得た知見をお客さまの変革支援に活かし、構想から実装・運用までを支援していきます。AIを社会で使える価値へと変えていくことこそ、ICTの実装力と現場知見を持つ当社の使命です。